

第40期 事業報告書

平成23年4月1日～平成24年3月31日



スターツコーポレーション株式会社

会社概要

商号	スターツコーポレーション株式会社
創業年月日	1969年3月27日
設立年月日	1972年9月30日
資本金	4,474,217,157円
社員数	4,829名（連結合計）
本社所在地	東京都中央区日本橋3-4-10 スターツ八重洲中央ビル



役員

代表取締役会長 兼グループCEO	村石久二
代表取締役副会長	関戸博高
代表取締役社長	河野一孝
代表取締役専務 兼グループCFO	大槻三雄
取締役	磯崎一雄
取締役	中松学
取締役	直井保雄
取締役（非常勤）	濱中利雄
取締役（非常勤）	佐々木和弘
取締役（非常勤）	直井秀幸
取締役（非常勤）	坂内勇仁
常勤監査役	川上保之
監査役	中山恒夫
監査役	多湖康夫
監査役	前原豊隆
専務執行役員	鳴沢隆之
執行役員	松田茂之
執行役員	村松久行
執行役員	長谷川隆浩
執行役員	村石豊隆

〔なお、取締役 直井保は平成24年6月28日株主総会の承認をもって就任となりました。〕
また、専務執行役員 鳴沢隆は平成24年7月1日付の就任となります。〕

株主メモ



営業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
配当金基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株式の名義書換	株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

郵便物送付先・電話お問い合わせ先
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324（フリーダイヤル）

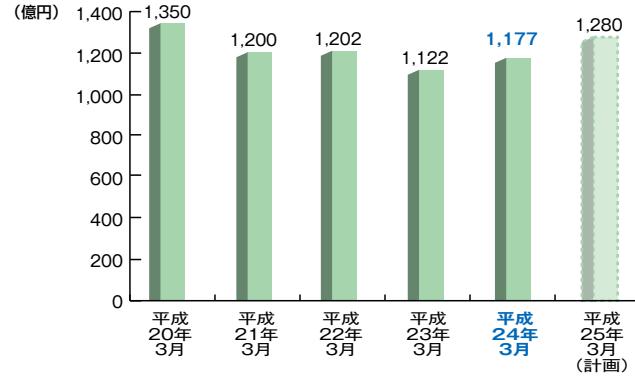
公告方法
電子公告により行います。
但し、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告ができない場合は、日本経済新聞に
掲載します。

ホームページ <http://www.starts.co.jp/>

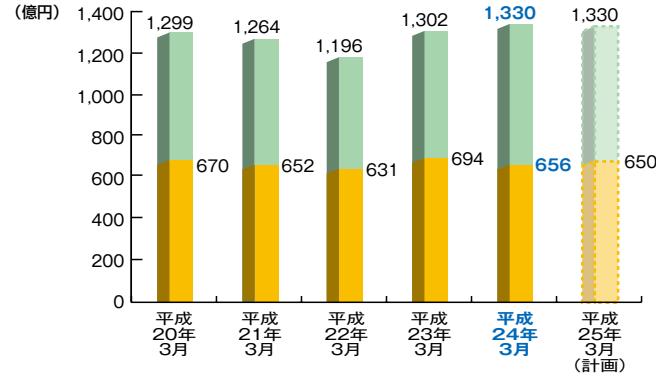


STARTS スターツコーポレーション株式会社

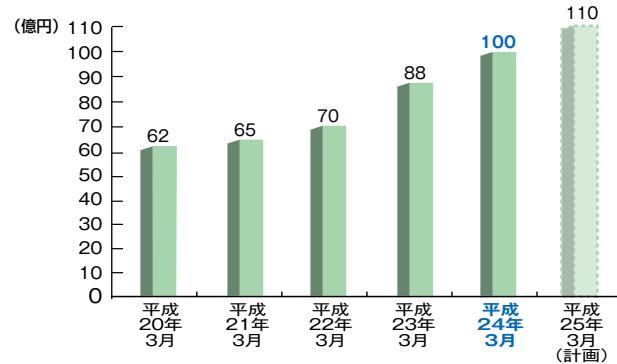
■連結売上高の推移



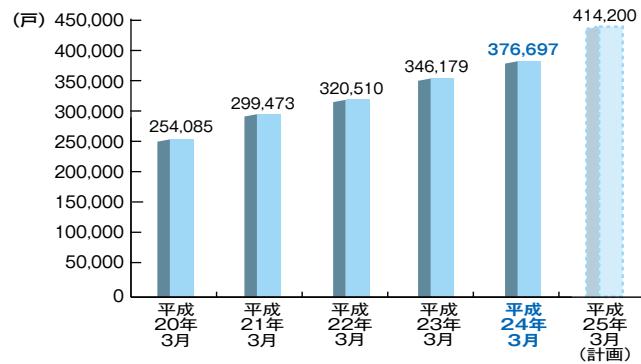
■連結総資産額の推移 (有利子負債)



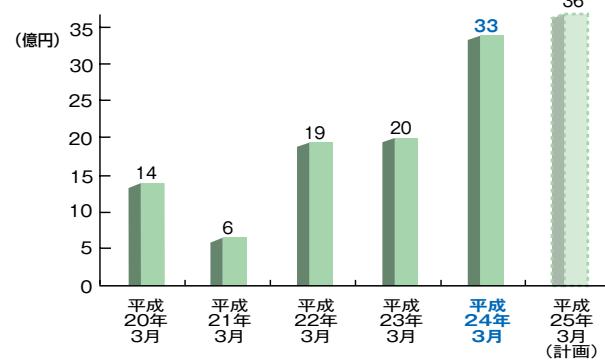
■連結経常利益の推移



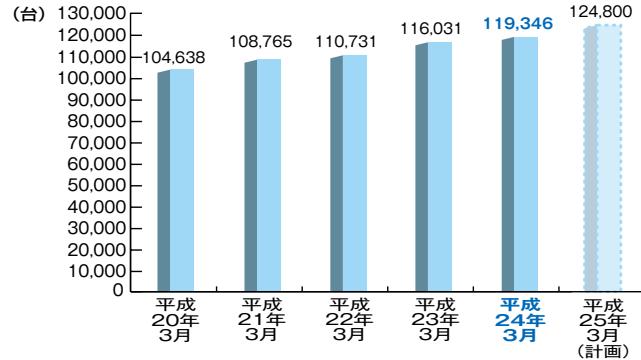
■住宅管理戸数の推移 (※ビル・施設管理1,054件は含まれておりません。)



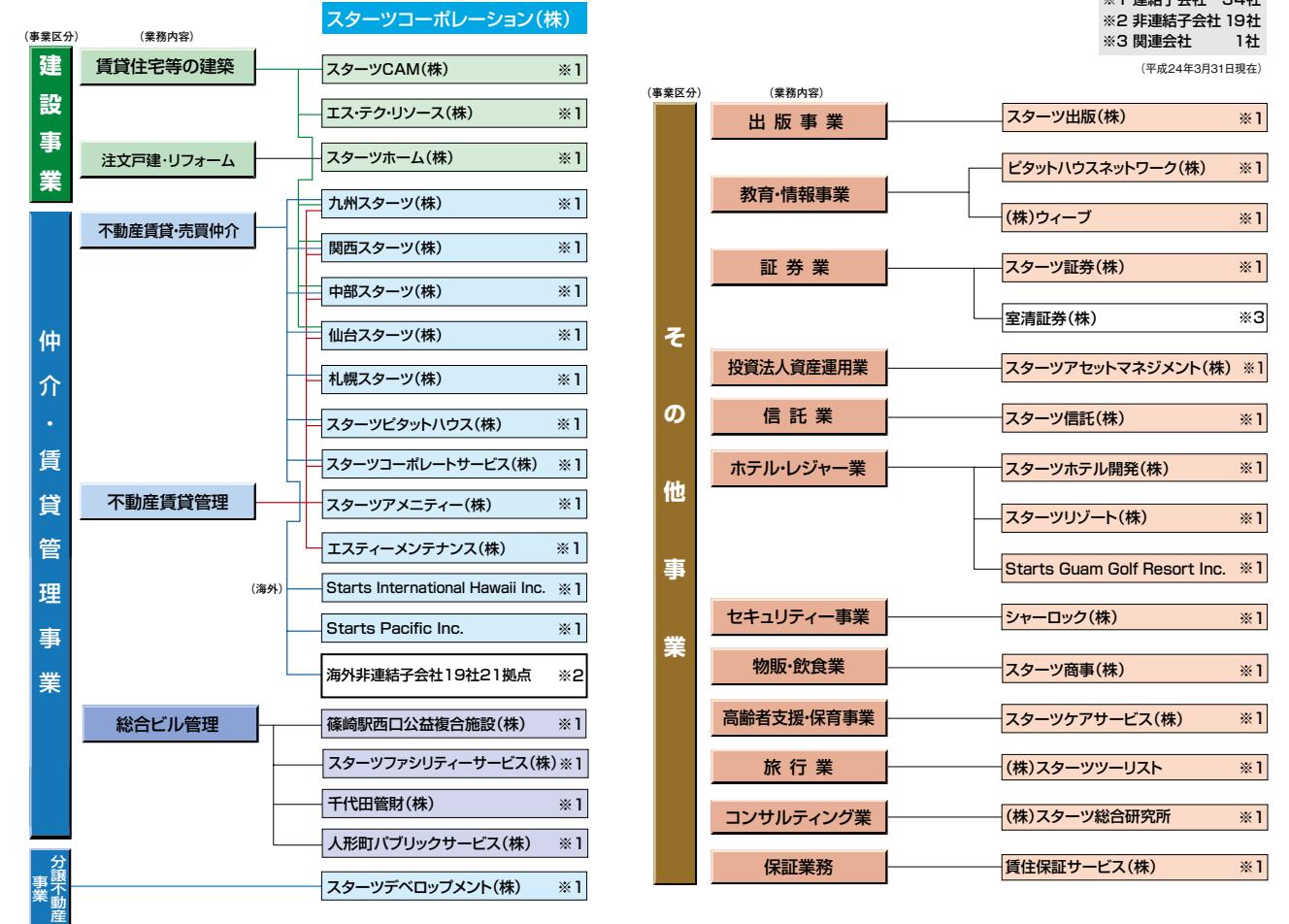
■連結当期純利益の推移



■駐車場管理台数の推移



当社企業グループは、総合生活文化企業を目標に、地域密着で相互に連携した当グループ会社 54 社で構成されておりますが、主要な事業内容とグループ会社等の位置づけは下図のとおりであります。



海外非連結子会社 ※赤字は新規開設拠点を示しております。

Starts New York Realty,LLC.	Starts Singapore Pte.Ltd.
Starts Brasil Real Estate Ltd.	Starts (Cambodia) Corporation
Starts International Australia Pty.Ltd.	Starts International Indonesia
Starts Real Estate Consultants (Shanghai) Co.,Ltd.	Starts India Private Ltd.
Starts (Guangzhou) Consulting Service Co., Ltd.	Starts Philippines, Inc.
Starts Hong Kong Co.,Ltd.	Starts Deutschland GmbH.
Starts (Wuhan) Consulting Service Ltd.	Starts France E.U.R.L
Starts International Korea Co.,Ltd.	Starts Istanbul Construction Real Estate Consultancy & Trade Co.,Ltd.
台湾世達志不動産顧問(股)	
Starts International (Thailand) Co.,Ltd.	
Starts International Vietnam. Co.,Ltd.	

(第40期 新規開設設計 8拠点
 11年4月 武漢、ジャカルタ 8月 北京 9月 ニューデリー 10月 プノンペン
 12年1月 サンパウロ 2月 イスタンブール、マニラ)

建設・不動産・管理事業



■スターツCAM株式会社 (建設)

●土地有効活用事業

土地所有者様の立場で資産活用・相続・税務などのコンサルティングを行い、アパート・マンション・商業ビルなど、最適な土地活用方法を企画・提案しております。建築から入居募集、そして物件管理まで、一貫して「地域密着」のトータルサポートシステムで取り組んでおります。

●建設事業

土地の可能性を最大限に引き出し、収益性・デザイン性を配慮した設計で低層から高層まで、あらゆる用途に対応できる自社設計・施工体制を整えております。東日本大震災でも、その効果を実証した免震建築では、過去最高の年間 58 棟を受注し、受注累計は 235 棟となりました。(2012 年 5 月末現在) 2012 年 1 月には、「高床免震」・「吊床免震」に続く 3 つ目の特許「低重心免震」※を取得するなど、免震建築の更なる開発・普及に注力しております。



1. 高床免震賃貸マンション 2. 日本経済新聞一面広告(2011.11.11)
3. 井戸・かまどになるベンチ 4. 起震車

※低重心免震・・・狭小地で有効な免震構造である「吊床免震」をベースにしなが、より建物の高度利用を可能とした工法。

■スターツピタットハウス株式会社 (不動産仲介)

地域密着型の総合不動産店舗として、一人暮らしのお部屋探しからマイホームの購入・買い替え、事業用不動産による財産形成など、賃貸・売買のあらゆるご要望に対応しております。(2012 年 5 月末現在 87 店舗) 賃貸部門では「Sumai コンシェル」として、お引越しやケーブルTV等のお取次ぎサービスを充実させる一方、ITツールを駆使しながら営業力の更なる強化にも注力しております。また、2010 年 7 月より一部店舗で導入してきました、高齢者施設の紹介取次ぎサービスの相談窓口を全店舗に拡大いたしました。売買部門では、インターネットの強化による集客力の拡大や「マイホームオークション」としてヤフーオークションへの出展、更に一棟売りマンション等の販売強化を図っております。



■スターツアメニティー株式会社 (不動産管理)

オーナー様の安定した賃貸経営をサポートし、入居者様に「安心・安全・快適」な住環境をご提供し続け、物件管理戸数は「アクセス24」※1を含め、約32万戸となりました。(2012 年 5 月末現在) 新たに、オーナー様への管理運営の状況報告となるPMLレポートや入居者様からのご要望や物件設備情報等を一元管理する新システムも開発するなど、更なるサービスの向上を図っております。時間貸駐車場事業「ナビパーク」は28,000台を超え(2012 年 5 月末現在)、「キャッシュレス」や「ロックレス」※2など、ご利用者様に選ばれる駐車場づくりを目指しております。今後は、新たにカーシェアリング事業にも参入し、更なるサービス拡大に注力してまいります。



ナビパーク(ロックレス駐車場)

※1. 24時間365日賃貸住宅をサポートするサービスを商品化したもの

※2. 入出庫時、ロック板の無い駐車場



アクセスセンター(24時間365日)

■エスティーメンテナンス株式会社

住まいのトラブルを最前線でサポートするエスティーメンテナンス株式会社では、コールセンター業務や保守メンテナンスを行うほか、賃貸住宅の「退室業務」を代行する「リアリスト」などを展開しております。

■スターツコーポレートサービス株式会社(法人不動産)

多様化する企業の不動産ニーズに応えるべく、法人企業に特化した事業を展開。社有不動産の仲介・管理に留まらず、信託受益権の売買や大型商業施設のマスターリースなど、グループの総合力を活用し、企業のCRE戦略をワンストップでトータルサポートしております。一方、社宅管理事業では、2012 年 5 月末現在、181 社 57,489 件(住宅 51,581 戸、駐車場 5,908 台)と着実に管理戸数を増やすとともに、独自の社宅管理 web システム導入など、更なるサービス向上にも注力しております。



■スターツデベロップメント株式会社(分譲不動産)

マンション・戸建・タウンハウスなど、多様なライフスタイルに対応した住まい、街づくりに取り組んでおります。また、入居後のライフサポートを強化することで、お客様との生涯に渡るお付き合いを目指してまいります。



●アルファグランド八千代村上(分譲免震マンション)

■スターツホーム株式会社(注文戸建・リフォーム)

戸建部門「TOMONY(トモニ)」は完全注文住宅で多様化する「家」のニーズにお応えし、リフォーム部門「RePro(リプロ)」では戸建・マンションの内装リニューアルからスケルトンリフォームまで、幅広いニーズに対応できる体制を整えております。



■スターツファシリティサービス株式会社(総合ビル管理)

オフィスビルをはじめ商業施設、大学、病院・介護施設、結婚式場など、都心部を中心に約 1,077 件の施設管理を行っております。清掃・設備管理、警備業務はもちろん、機械警備、リニューアル工事、オフィスデザイン、セキュリティ設計、テナントリーシングから省エネ提案まで、ワンストップにてサービスをご提供。また、設備の遠隔監視・制御が可能なオリジナルシステム「ビルコム」による大幅なコスト削減もご提案しております。一方、カードリーダーなどの開発・製造・施工・保守までを自社で行い、入退出管理や勤怠管理、照明・空調連動システムなど、お客様のニーズに合わせた機器・システムの開発を行うほか、グループ相互協力のもと、新商品「いえコム」(ホームセキュリティシステム)を開発するなど、その事業領域を拡大させております。



●ビルコムセンター(24時間遠隔監視)



●侵入検知セット端末



●アニヴェルセル 豊洲(結婚式場)



●消火設備点検

～グループが手掛ける大型プロジェクト～

創業時から地域密着の街づくりに取組んできた強みと、グループ各社の事業ノウハウを集約させた大型開発やPF1事業を各地区にて手掛けております。

① JR 小岩駅南口(第一種市街地再開発)

グループでは初めて手掛ける高さ 100 m を超える高層免震建築。低層部に商業施設や駐車場を設け、中層部には約 180 戸の住宅を配置する計画で、小岩駅周辺における再開発のリーディングプロジェクトとして、2012 年に着工、2015 年度の完成を予定しております。

■計画概要

- 敷地面積 : 約 3,240m²
- 延床面積 : 約 32,650m²
- 階数 : 地下 2 階地上 29 階建
- 建築物高さ : 最高 106.5m
- 住宅総戸数 : 約 180 戸



◆2012年着工予定

② JR 成田駅東口(第二種市街地再開発)

地下 1 階～地上 2 階は商業施設、3～5 階には公共施設等が入り、6 階以上が住宅になる計画で、2012 年の着工を予定しております。

■計画概要

- 敷地面積 : 約 4,310m²
- 延床面積 : 約 26,300m²
- 階数 : 地上 15 階、地下 1 階建
- 建築物高さ : 約 60.0m
- 住宅総戸数 : 70 戸(約 72m²～90m²)



(成田市提供)

◆2012年着工予定

■ 高齢者支援・保育事業

■ スターツケアサービス株式会社

少子・高齢化が進む社会を見据え、地域密着で高齢者支援・保育事業等の総合福祉サービスを展開。2012年5月現在、15ヶ所のグループホームをはじめ、有料老人ホーム、訪問介護、居宅介護支援、デイサービス、小規模多機能型施設、シニア賃貸住宅、認可保育園を運営しております。ご利用者様の心身の状態に合わせたサービスを切れ目なく提供し、慣れ親しんだ地域から離れることなく、その人らしく暮らせる「ヒューマンケア」をご提案しております。2011年4月には、フィンランド国営企業・FWBC フィンランド Oy 社と業務提携契約を締結。両国・両社の持つノウハウを融合し、さらに質の高い施設設計や福祉サービスの提供を目指してまいります。



● グループホームきらら木場公園 (2011年12月開設)

● サードライフ事業推進室(スターツコーポレーション株式会社)
首都圏を中心に1,445施設と提携し、「有料老人ホーム」「高齢者向け賃貸住宅」等のご紹介を行うだけでなく、グループの総合力とノウハウを活用し、入居後の資産運用から相続相談まで、入居者様とご家族をトータルサポートできる体制を整えております。また、2011年10月からは様々な企業と連携し、的確なご提案ができる有資格者「サードライフアドバイザー」を配した「サードライフ相談室」の多店舗展開を開始いたしました。



～ご紹介を行う各種施設～



● ゆらら篠崎 ● うらら一之江 ● きらら当代島

■ 金融・コンサルティング事業

■ スターツ証券株式会社

多岐に亘る金融知識を駆使し、お客様の様々なご要望にお応えする総合金融コンサルティングサービスを展開。資産・事業承継コンサルティング、株式売買委託・投資信託の販売や生命・損害保険を通じたライフプランのご提案、そして銀行代理業として複数の住宅ローン商品のご提供を行っております。また、地域密着の営業を軸としながら、保険・住宅ローン・ライフプラン・税務までをフルサポートする来店型ショップ「住まブラ」(スターツマネーブラザ) 第2号店(横浜)の開設を予定するなど、サービスエリアの拡大も図っております。



● 「住まブラ」西葛西店

■ スターツ信託株式会社

グループが培ってきたノウハウを活かした信託機能の提供を通して、数世代先までを見越した資産承継計画の立案から、資産活用・遺産分割・その後の継続信託など、資産運用に関わるすべての場面において、ワンストップでお客様をサポートしてまいります。



■ スターツアセットマネジメント株式会社

グループの総合力とノウハウを最大限に活用し、賃貸住宅への投資を行う「スターツプロシード投資法人」[東証上場(証券コード: 8979)]の資産運用を行うほか、各事業と連携をとりながら、市街地再開発やPF事業などの不動産コンサルティング業務も行っております。



■ 株式会社スターツ総合研究所

SEA ネットワークでは、全国100社を超える優良不動産会社と「共存共栄」を理念に、幅広い事業領域においてパートナーシップを構築することで、そのネットワークを着実に拡大させております。



■ 不動産ネットワーク事業

■ ピタットハウスネットワーク株式会社

総合不動産ショップ「ピタットハウス」のネットワークは416店舗(2012年5月末現在)。ホスピタリティあふれる不動産ショップを目指し、店舗スタッフに対する定期研修や接客コンテスト、ミステリーショッパー(覆面調査)など、人材育成・人材教育に注力しております。また、2012年4月に福岡営業所を開設し九州エリアを強化。今後も、メディアでのプロモーションやグループ各社とのシナジー効果も拡大させながら、より強固なネットワーク構築を目指してまいります。



● 2012年度TVCM「脳内矛盾」篇

■ 出版・メディア事業

■ スターツ出版株式会社

従来の出版社の枠を超え「紙×デジタル×イベント」3つのコンテンツを駆使し、読者に「街に出かけ、リアルに人と出会えるキッカケ」をご提供しております。雑誌・書籍事業では、本年で創刊25周年を迎える「オズマガジン」、東京メトロで配布のビジネスパーソン向けフリーマガジン「メトロミニッツ」、若年層より支持を受けているケータイ小説(書籍)などを発行。ケータイ小説では、20~30代の女性をターゲットにした「Berry's Books」を新創刊し、新たな読者層の創出にも注力しております。インターネット事業では、女性向け情報サイト「オズモール」(会員数165万人)を中心に展開。成功報酬型送客サービス「オズのプレミアム予約」シリーズでは、厳選したホテル、温泉、レストラン、ビューティサロンなど約1,300施設より、年間約120万人にご利用いただいております。また、500人規模の巨大女子会や様々な企業様とのコラボレーションなど、リアルイベントの開催にも注力しております。地域情報紙事業では、地域密着型フリーペーパー「アエルデ」を6地域で月間50万部発行。飲食店などでご利用できるクーポン型広告、読者参加型の投稿記事など、暮らしに役立つ情報を発信し続けております。

■ セキュリティー事業

■ シャーロック株式会社

「安心の創造」をテーマに、賃貸住宅に付加価値を与えるカードキーシステム事業として、昨年、おかげさまで創業10周年を迎えることができました。住む人の安全はもとより、管理コストも抑え、物件管理の利便性と省力化を図ったシステムとして、大手ハウスメーカーの標準仕様としても採用されております。新たな拠点展開として、2012年4月に関西支店(大阪・広島)を開設。今後も住宅だけに留まらず、オフィスや施設にも導入可能な新商品の開発に注力するなど、その事業領域を着実に拡大してまいります。



● 創業10周年お客様感謝会



● シャーロックⅢ



1. オズマガジン
2. メトロミニッツ
3. ケータイ小説(書籍)
4. オズモール
5. 巨大女子会イベント
6. アエルデ

■連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	(平成24年3月31日現在)	(平成23年3月31日現在)
■資産の部		
流動資産	64,838	60,227
現金及び預金	27,818	24,366
受取手形及び売掛金	7,602	6,786
販売用不動産	9,879	10,776
仕掛販売用不動産	13,927	13,275
未成工事支出金	504	608
前払費用	1,010	875
未収入金	310	492
立替金	1,729	1,308
繰延税金資産	1,359	1,169
その他	902	773
貸倒引当金	△205	△206
固定資産	68,202	70,013
有形固定資産	50,268	51,197
建物及び構築物	17,661	18,212
土地	30,446	31,113
その他	2,159	1,870
無形固定資産	4,101	4,346
投資その他の資産	13,832	14,469
投資有価証券	8,065	8,338
繰延税金資産	1,597	2,029
その他	4,484	4,481
貸倒引当金	△315	△380
資産合計	133,040	130,241

注)百万円未満の金額は切り捨てて記載しております。

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	(平成24年3月31日現在)	(平成23年3月31日現在)
■負債の部		
流動負債	52,843	48,328
買掛金及び工事未払金	11,878	11,323
短期借入金	22,882	21,933
その他	18,082	15,068
固定負債	50,916	56,365
長期借入金	42,732	47,466
その他	8,184	8,896
負債合計	103,760	104,693
■純資産の部		
株主資本	22,641	20,029
資本金	4,474	4,474
資本剰余金	4,133	4,133
利益剰余金	14,089	11,478
自己株式	△56	△55
その他の包括利益累計額	1,586	1,463
その他有価証券評価差額金	862	795
土地再評価差額金	1,155	1,068
為替換算調整勘定	△431	△400
少数株主持分	5,052	4,054
純資産合計	29,280	25,547
負債・純資産合計	133,040	130,241

注)百万円未満の金額は切り捨てて記載しております。

■連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高	117,785	112,241
売上原価	83,498	78,839
売上総利益	34,286	33,402
販売費及び一般管理費	23,357	23,538
営業利益	10,929	9,864
営業外収益	591	556
営業外費用	1,434	1,558
経常利益	10,087	8,861
特別利益	398	89
特別損失	1,107	2,339
税金等調整前当期純利益	9,377	6,612
法人税、住民税及び事業税	4,622	3,956
法人税等調整額	343	△221
少数株主損益調整前当期純利益	4,412	2,877
少数株主利益	1,043	797
当期純利益	3,368	2,079

注)百万円未満の金額は切り捨てて記載しております。

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,085	△749
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,614	△3,530
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,647	5,510
現金及び現金同等物に係る換算差額	△75	△384
現金及び現金同等物の増減額	2,747	846
現金及び現金同等物の期首残高	20,126	19,042
連結範囲の変更等に伴う現金及び現金同等物の増減額	-	237
現金及び現金同等物の期末残高	22,874	20,126

注)百万円未満の金額は切り捨てて記載しております。

■事業の種類別セグメント情報

(単位:百万円)

	当期		前期	
	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
	売上高	セグメント利益又は 損失(△)	売上高	セグメント利益又は 営業損失(△)
建設	37,744	3,639	36,549	3,123
仲介・賃貸管理	59,809	7,669	56,920	6,624
分譲不動産	4,103	△1,690	3,174	△622
その他	16,128	1,584	15,597	943
調整額(注2)	-	△272	-	△205
合計	117,785	10,929	112,241	9,864

注1)百万円未満の金額は切り捨てて記載しております。

注2)セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

■連結株主資本等変動計算書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
平成23年3月31日残高	4,474	4,133	11,478	△55	20,029	795	1,068	△400	1,463	4,054	25,547
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当	-	-	△765	-	△765	-	-	-	-	-	△765
当期純利益	-	-	3,368	-	3,368	-	-	-	-	-	3,368
自己株式の取得	-	-	-	△0	△0	-	-	-	-	-	△0
土地再評価差額金取崩額	-	-	8	-	8	-	87	-	87	-	95
株主資本以外の項目の連結会計年度中変動額(純額)	-	-	-	-	-	66	-	△31	35	998	1,034
連結会計年度中の変動額合計	-	-	2,611	△0	2,611	66	87	△31	122	998	3,732
平成24年3月31日残高	4,474	4,133	14,089	△56	22,641	862	1,155	△431	1,586	5,052	29,280

注)百万円未満の金額は切り捨てて記載しております。

個別財務諸表

■個別貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期 (平成24年3月31日現在)	前期 (平成23年3月31日現在)
■資産の部		
流動資産	28,141	25,410
固定資産	36,134	36,467
有形固定資産	22,754	22,807
無形固定資産	195	279
投資その他の資産	13,185	13,381
資産合計	64,276	61,878
■負債の部		
流動負債	22,637	19,679
固定負債	28,207	29,537
負債合計	50,844	49,217
■純資産の部		
株主資本	11,441	10,824
資本金	4,474	4,474
資本剰余金	4,110	4,110
利益剰余金	2,912	2,295
自己株式	△56	△55
評価・換算差額等	1,990	1,836
その他有価証券評価差額金	834	767
土地再評価差額金	1,155	1,068
純資産合計	13,431	12,661
負債・純資産合計	64,276	61,878

(注)百万円未満の金額は切り捨てて記載しております。

■個別損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高	4,469	4,841
売上原価	526	522
売上総利益	3,943	4,319
販売費及び一般管理費	2,195	2,173
営業利益	1,748	2,145
営業外収益	463	435
営業外費用	831	992
経常利益	1,381	1,588
特別利益	115	54
特別損失	432	1,581
税引前当期純利益	1,063	61
法人税、住民税及び事業税	△396	△486
法人税等調整額	86	△280
当期純利益	1,373	828

(注)百万円未満の金額は切り捨てて記載しております。

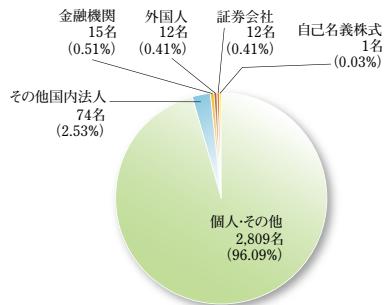
株式の状況

■株式の状況

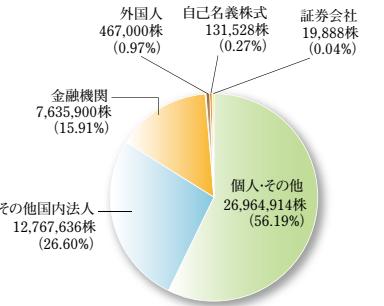
- (1) 会社が発行する株式の総数 100,170,000株
- (2) 発行済み株式総数 47,986,866株
- (3) 株主数 2,923名
- (4) 大株主 (平成24年3月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
有限会社 豊州	12,165 千株	25.42 %
村石 久二	9,324	19.48
スターツ従業員持株会	3,054	6.38
株式会社 りそな銀行	2,184	4.56
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	2,138	4.47
濱中 利雄	1,438	3.01
大槻 三雄	1,352	2.83
村石 純子	1,344	2.81
青野 昌浩	1,093	2.29
富士火災海上保険 株式会社	885	1.85

■所有者別株式分布状況



■所有株数別株式分布状況



スポーツ・文化活動

スポーツ・文化への協賛を通じて「平和な世界へ」という願いのもと、汗する人・目標に向い夢を追い続ける人への応援、地域への貢献、感謝の想いを伝えてまいります。

■東京マラソン 2012 (第1回大会～)

様々なご縁が重なり、第1回より公式スポンサーとしてナンバーカード協賛をさせていただいております。また、当日は約330名の社員によるボランティア活動やフィニッシュ地点での「足湯」サービスなど、ランナー目線でのスターツらしいサポートをさせていただきました。



©TOKYO MARATHON FOUNDATION

■第29回仙台・杜の都 全日本大学女子駅伝 (第23回大会～)



■第36回サンスポ千葉マリン マラソン (第14回大会～)



■日本卓球協会オフィシャルパートナー (2007年～)

2007年よりナショナルチームのオフィシャルパートナーとして、「世界卓球選手権」(2011年5月: ロッテルダム、2012年3月: ドルトムント)でも、ユニフォームに「スターツ」ロゴをつけた選手達を応援させていただいております。



■スターツシニアゴルフプロアマ2011 (日本プロゴルフ協会認定競技)



■第13回スターツレディースゴルフ



※2012年度はシニアトーナメントを開催

■第2回高橋尚子杯『ぎふ清流 ハーフマラソン』(第1回大会～)



■新日本フィルハーモニー (2007年～) ～スターツサマーコンサート～(7月) ～スターツハートフルコンサート～(12月)



photo: K.MIURA

■第33回浦安市花火大会



～スターツ陸上競技部～ (2000年～)

マラソンの「コツコツ積み重ねた努力が着実に身を結ぶ」「それぞれのペースでゴールを迎える」というイメージが企業理念と重なるという考えから創部。「第31回全日本実業対抗女子駅伝」(2011年12月)では、レース中盤までトップ争いをするなど、過去最高の9位でゴールしました。

